令和６年度 豊田小中一貫校 小山市立豊田中学校 学校経営基本計画

１　学校教育目標

◎思いやりのある子ども
◎自ら考え学ぶ子ども
◎たくましい子ども
◎ふるさとを大切にする子ども

◇校訓・伝統精神
【小】　〇至誠　〇勇気　〇規律　　【中】　〇正義　〇勇気　〇根気

２　次代を担う子ども像（めざす子ども像）

〇自律的に行動し、よりよく人と関わる子ども
〇自ら考え学び、豊かに表現する子ども
〇地域を大切にしながら、夢に向かって挑戦する子ども

豊田小中一貫校は、３つのキーワード「自律」、「夢」、「地域」を柱として、本地区のこれまでの歴史や文化、伝統、地域住民の思いや願いを受け継ぎ、子どもたちがこれからの時代を生き抜くために、「多様な人々と協働し、様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な未来社会を切り拓いていくための資質・能力」を育成し、「よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創る人間を育てる」新しい学校（小学校併設型中学校）を創っていく。

また、地域の人々から愛され、地域に根ざした教育を進め、児童生徒、教職員、保護者、地域住民が、互いのパートナーとして、共に成長し、共に地域を創るという理念に立った学校創りを推進する。

３　めざす学校像

〇心と心が響き合う学校
〇生き生きと学び合う学校
〇保護者や地域から信頼され、地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）

４　めざす教職員の姿

〇情熱と愛情をもち、あきらめない教職員
〇子ども・保護者・地域に寄り添う教職員
〇豊かな人間性をもち、資質・能力の向上に努める教職員

５　学校経営構想

【豊田小中一貫校として】

小中一貫校 3 年目を迎える令和６年度は、豊田ならではの教育をより具体的に実践する。その実現を目指す豊田小中一貫校共通の学校経営基本理念は以下のとおりである。

児童生徒一人一人に「生きる力」を育み、「自律的に行動し、夢を持ち続け、地域とともに育つこの育成」に務める。子供たちが生き生きと活動し「学校に来てよかった、また学区に来たい」と思える日々を創っていく。「すべての教育活動は児童生徒を育てるために」を基本理念に一人一人を大切にした学校経営をしていく

「併設型小中一貫校」の特色を生かし、小中それぞれの発達段階を踏まえ、「協働」と「学校ごと」のバランスを取りながら教育課程の編成と実施に取り組んだ。まだ発展途上ではあるが、「豊田ならでは」の教育は確実に推進できていると感じる。今年度のテーマを「小中一貫校として持続可能で実効性があり、９年間をつなぐ教育計画の実施・工夫改善」とし、小中がより連携し、地域の期待や希望に応える学校づくりに努めたい。

【豊田中学校として】

学校経営のテーマ「一人一人が生き生きと学び、成長を実感できる学校」

令和 6 年度も不断の見直しと柔軟な対応を信条に、生徒の可能性を伸ばす教育の実践によって、人が変わっても続く「持続可能な豊田中ならではの教育」の推進に努めたい。今年度の学校経営のテーマとして「一人一人が生き生きと学び、成長を実感できる豊田中学校」とした。生徒を主語とした教育の実践によって、一人一人が「自分事」として学び、成長を実感できる学校の実現に努める。生徒一人一人の成長を期し、「集団の中で学ぶ」という学校教育の特質を生かし、教育活動の充実を図ることを校是とする。

「集団の中で生きる個」を育成するためには、基本的な生活習や学習習慣の形成（基底的な指導）を徹底しながらも、生徒の自主的・自発的活動への支援に力を入れ、生徒が発意し、考え行動する機会や場を通して、成功体験を味わわせるとともに、時には失敗から学ぶ機会を与えるなど、「なすことによって学ぶ」教育を大切にし、その充実を図る。

このことにより、生徒一人一人が自らを律し、学校生活上の諸問題や発達課題等を乗り越える「個の成長」とともに、各学級や学年など様々な単位の集団が「学びに向かう集団として成長（集団の成長）していくための教育活動を展開する。個の学びと集団（協働）の学びの往還を通して、一人一人の能力・個性・特性が尊重されること、他者と対話しながら、一人では到達できないことを実現していく協働力を身に付けること、これらを繰り返し、持続可能な社会の作り手として必要な資質・能力を育成したい。

さて、豊田中学校の大きな課題として「少子化による学級減と教員数減」があげられる。教育問題も多様化し、さらに働き方改革を求められる今、２つの取組を強化したい。１つ目の取組として、ICT 機器活用による業務改善に取り組む。２つ目の取組として、地域連携をさらに進めたい。豊田の地域力を積極的に取り入れ活用するとともに。地域貢献となる取組もさらに発展させる。積極的に学校を地域に開放し、「学校を核とした地域づくり」に取り組むことで、魅力ある学校、ひいては魅力ある豊田へと地域の活性化に貢献したい。

豊田中学校は施設の老朽化も進み、教育環境としてけっして満足できる状況ではない。しかしだからこそ、生徒の心を揺さぶる、感動のある教育を目指さなくてはならない。校長として最後の１年。力の限り学校経営に邁進したい。

６　学校教育目標実現のための基本方針

（１）「思いやりのある子ども」の育成に向けて

①主体的に判断し、行動する

○規範意識の向上と基本的な生活習慣の定着
○組織として機能する積極的生徒指導の充実
○生徒の自治的活動を柱とした学校行事・体験活動の実施
○小中一貫校の特色を生かした異学年交流活動の実施
○自ら考え取り組む清掃活動の実践

②自他を大切にできる

○個が生きる集団活動の実践「みんながよく、自分もよいこと」（居がいのある集団づくり）
○人権感覚の育成をめざす人権教育の充実
○「いじめ」をはじめとする問題行動等の未然防止と早期発見・早期対応
○多様性を受け止め、互いを尊重し合うインクルーシブ教育の推進

③夢をもって自分の成長を実感できる

○９年間をつなぐキャリア教育の充実（キャリアパスポートの活用や夢カレンダーの運用）
○勤労観や職業観を育むキャリア教育・体験活動の充実
○自己理解力を促す教育活動の工夫「自分の強み・弱みはなにか」（教育相談活動の充実）

（２）「自ら考え学ぶ子ども」の育成に向けて

①自分で思いや考えをまとめ、表現できる

○自己肯定感や自己効力感を高める特別活動の充実
○主体的に学び、表現できる力を育む教育活動の工夫
○「考え議論する道徳」教育の実践
○ＩＣＴ機器等の効果的活用のための研究実践（L-gate の運用・情報モラル教育の充実）
○学び合える教育環境整備（T’s　Gallery・発表の場の設定等）

②確かな学力（資質・能力）を身に付ける

○９年間を見通した系統性を意識した教科指導の充実
○一人一人の教育的ニーズに合わせた特別支援教育の充実
○新学習指導要領のねらいを生かした指導と学習評価の一体化
○学び合う集団づくりの実践（個→集団→個）

③めあてをもって自分から学習する

○単元を見通しての１時間１時間を大切にした授業の実践
○生徒の学びを深める振り返りの工夫
○問題解決型学習のプログラムや体験活動の積極的な導入
○学習習慣の確立（豊田スタンダード・家庭学習・読書活動の奨励も含む）

（３）「たくましい子ども」の育成に向けて

①元気よくあいさつができる

○基本的生活習慣の定着（豊田スタンダード・あいさつ運動）
○家庭及び関係機関との連携

②自ら運動し、めあてに向かって体力向上に取り組む

○計画的な体育行事の実施
○運動の日常化を推進（休み時間、放課後等の活用）
○新体力テスト、アンケートの結果活用（個々の課題解決を促進・生活習慣の改善）
○部活動地域移行への準備

③健康安全に気を付けて生活できる

○９年間を見通した健康教育・安全教育の充実（危機回避能力の育成）
○保健指導による家庭への啓発（保健関係行事・たより等）
○地域の実情にあった防災教育の充実
○自他の生命を大切にする教育の推進

（４）「ふるさとを大切にする子ども」の育成に向けて

①地域とともに学ぶ

○豊田コミュニティ・スクール構想の推進（地域学校協働活動の活性化・地域 CO 活用等）
○総合的な学習の時間を柱とした「豊学」の構築（とよなび、地域防災リーダー等）

②ふるさとに誇りをもつ

○小中一貫教育の充実
○豊田小中一貫校アクションシートの実践
○地域伝統行事への積極的な参加協力

③地域の一員として貢献できる（地域部会）

○小中合同ボランティア活動の実施
○自治活動の促進（地域行事等における児童生徒による自主運営の促進）
○積極的な学校公開を実施（オータムコンサート、小中合同作品展等）

◆重点内容

（１）確かな学力の育成に向け、基礎基本の確実な定着を目指した指導法の工夫改善を行い、自ら学び考え、豊かに表現できる生徒を育てる。
（２）特別活動を核とした積極的な生徒指導を展開し、集団で学ぶよさを味わう中で、自律的に行動し、よりよく人と関わることができる生徒を育てる。
（３）キャリア教育の充実によって、夢を持ち、自分の進路や生き方を主体的に選択・決定できる生徒を育てる。
（４）「豊学」や地域学校協働活動の実践によって、地域のよさを感じ、誇りを持ち、地域に貢献する生徒を育てる。
（５）「自律・夢・地域」を柱に、９年間を見通した系統性や一貫性のある教育活動を実践し持続可能な「豊田ならでは」の小中一貫教育を創造する。
（６）ICT 機器活用や地域人材の活用など推進し、職場環境の整備や業務の効率化に努める。